

新たな学校づくりの基本方針

中川村教育委員会では、令和3年度・4年度の2年にわたり、「中川村保育園、小中学校のあり方検討委員会」を設置して、学校のあり方について検討してきました。
その答申を踏まえて、新たな学校づくりの基本方針を定めました。

◆これまでの検討で、中川村の教育の強みと課題を洗い出しました

強み:素直で良い子が育つ、安定した人間関係がある 等

課題:主体性・自己肯定感が低い、切磋琢磨しにくい 等

◆強みを伸ばし課題を克服するため、目指す教育の姿を設定しました

自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓していく力を育む

◆目指す教育の姿に向け、3つのアプローチを導き出しました

- 1 9年間を一体的に捉え、効果的に学ぶための独自のカリキュラムをつくる
- 2 学年規模拡大・異学年交流により、多様な学習グループで学べる教育環境をつくる
- 3 オール中川で地域が学校と連携して子ども達の成長を支え育てるとともに、子どもも大人も成長できる仕組みをつくる

◆3つのアプローチを強力に進めるため、以下の基本方針を定めました

2つの小学校と1つの中学校を統合し、小中一貫教育を実施する教育環境を整備する

地区懇談会にて詳しく説明いたします